

新城喜一・新城榮徳顕彰公演

（沖縄芝居を支えた舞台美術家）



新城喜一



新城榮徳

2018年

12月28日(金) 17時開演 (16時開場)

* ホワイエにて両氏の功績を
迎える特別展を開催します*

国立劇場おきなわ 大劇場 全席自由

【前売り券】3,000円 【当日券】3,500円 【学生券】2,000円(中高生&大学生)

【無料】小学生&未就学児

【プレイガイド】 国立劇場おきなわチケットカウンター 098-871-3350 パレット久茂地 098-867-1171
コープあぷれ (あっぷるタウン内) 098-941-8000

【お問い合わせ】 080-3994-5137 (事務局)

【主催】 新城喜一・新城榮徳顕彰公演実行委員会

【後援】 沖縄テレビ放送 琉球新報社 沖縄タイムス社 琉球朝日放送 ラジオ沖縄

【協力】 琉球歌劇保存会 沖縄俳優協会 那覇市文化協会演劇部会 劇団綾船 劇団花園 劇団うない 沖縄芝居研究会

新城喜一・新城榮徳顕彰公演

長年にわたり沖繩芝居の舞台美術を担ってきたお二人の功績を讃え、榮徳氏が今年八十歳を迎えられたことを機に企画。両氏の世界観を存分にお楽しみいただけるよう、沖繩芝居二本立てでお届けします。名作歌劇「薬師堂」では、平成三十年度沖繩県文化功労者として表彰された榮徳氏が美術を担当、伝説劇「姫の仇討」では喜一氏が書き下ろし、美術も担当します。大劇場ホワイエでは、今作品のために喜一氏が描いた道具帳や、両氏の功績を辿る貴重な資料の数々を展示する特別企画も開催。沖繩芝居を支え続けてきた舞台美術家、新城喜一氏と榮徳氏の裏方の世界にスポットをあてます。

伝説劇 姫の仇討

原作 新城喜一
脚本 高宮城実人
監修 平良進・吉田妙子

米次按司 高宮城実人
妻 赤嶺啓子
娘 知念亜希
真嘉比 玉城匠
我瀬之子 嘉数道彦
船頭 上原崇弘
百姓夫婦 新垣正弘・伊禮門綾
臣下 伊藝武士・嘉数幸雅
比嘉大志
腰元 祖慶しのぶ・佐和田香織
小嶺和佳子・玉城知世
宮崎花澄・伊良波さゆき
奥平由依・伊波留依

あらすじ
米次城で幸せに暮らす米次按司には、美しい妻と年頃の娘がいた。ある日、按司が娘の婿捜しのため城下へ出掛けると、待ち伏せしていた我瀬之子の臣下らに襲われる。我瀬之子は按司の美しい妻を奪うため悪巧みをしていたのだ。按司が窮地に追い込まれると、味方のふりをした我瀬之子が現れ按司を助ける。騙されているとは知らず、命の恩人我瀬之子に気を許した按司は、お礼がしたいと城へ招き、もてなすことに。宴の席で按司の妻にお酌をされた我瀬之子はその美しさに益々心を奪われ、さらなる悪事を企てる…。

名作歌劇 薬師堂

作 伊良波尹吉
演技指導 瀬名波孝子

白河白露 金城真次
初岡鶴 伊波留依
乳母 中曽根律子
初岡の父 新垣勝夫
下男次良 瀬名波孝子
下男カミジャー 伊禮門綾
真刈 伊藝武士
真刈の父 平良進
友人 吉田妙子
学友 嘉数道彦・玉城匠
三月遊びの女たち 嘉数幸雅・上原崇弘
比嘉大志
平岡絵津子・杉野早苗
叶都美恋・瑚城舞花
立花愛希・祖慶しのぶ
佐和田香織・小嶺和佳子
玉城知世・宮崎花澄
伊良波さゆき・奥平由依
大城常政

あらすじ
白河白露は、三月三日の浜下りに、友人達と薬師堂の浜に出掛け、初岡家の娘、鶴を見初めます。毎夜、人目を忍んで鶴の屋敷を訪れる白露。鶴が白露と初めて結ばれたその晩、下男達に見つかり、鶴は父親に勘当されてしまいます。乳母とともに身を隠した鶴。白露は鶴の居場所を探し出し、乳母に鶴との再会を懇願しますが…。

【地謡】

歌三線 新垣俊道
箏 仲村逸夫
笛 仲大千咲
入嵩西諭

【舞台美術】

新城喜一
新城榮徳
みやぎ大道具

【舞台監督】

中村倫明
(オキナワステージプラン)

【照明】

真庭真一 (アイコア)
我那覇蘭

【舞台・音響】

国立劇場おきなわ

